

## 2 家畜衛生対策事業

### (1) 監視・危機管理体制整備対策事業

#### ア 家畜伝染病防疫対応強化

飼養衛生管理の向上を図るため、会議・研修会を開催し、また、農場を巡回し衛生管理指導を実施した。

実施内容	開催回数	出席人数	備考
地域推進会議	5	81	市町、農協、獣医師
衛生管理指導	10	-	大規模肉用牛農家

#### イ 家畜衛生関連情報収集体制整備

畜産農家からの情報や病性鑑定成績等を基に、家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報を収集・分析し報告及び農家への情報提供をした。

実施内容	実施件数	備考
情報の収集	82 (件)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の収集
家畜衛生情報提供	36 (回)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の報告

#### ウ 診断予防技術向上対策

近年問題となっている家畜の伝染性疾病の迅速診断法の開発を進めるために必要な調査、検査を実施した。

疾病名	畜種	実施戸数	検体数	実施内容
牛ウイルス性下痢・粘膜病	牛	1	96	抗体保有状況調査、抗原検査、飼養状況調査

#### エ まん延防止円滑化対策

特定家畜伝染病に関する連絡会議及び防疫演習の実施協力を行った。

実施内容	回数	出席人数	備考
口蹄疫・鳥インフルエンザ対策連絡会議	9	463	各農業振興事務所主催 市町、関係機関、関係団体
鳥インフルエンザ防疫演習(地域)	4(地域) 1(県)	304 116	机上演習及び実地演習(農場防疫作業及び消毒ポイント作業等)

## (2) 慢性疾病等生産性阻害疾病対策

生産性阻害が顕著な農場に対し、生産性を阻害する疾病群について、調査・検査を行い、発生動向を把握、得られた成績をもとに、対策を検討するとともに、疾病防疫マニュアル作成の基礎とする。

疾病名	畜種	調査戸数	調査頭羽数	実施内容
呼吸器病 (牛コロナウイルス病)	牛	1	350	寒冷期の導入子牛に対し、事前のワクチン接種、投薬プログラムの設定及び防風ネットの設置を指導。導入後における呼吸器病の治療頭数の減少が認められた。
下痢症 (鶏コクシジウム病)	鶏	1	12,240	本病による死亡鶏の増加に対し、導入鶏及び敷料等の検査を実施した。結果を元に敷料の水分調整、異常鶏の早期隔離、オールアウト時の清掃・消毒の徹底を指導したところ、改善が図られた。

## (3) 畜産物安全性確保対策

### ア 生産衛生管理体制整備事業

畜産物の安全性の確保を図るため、生産現場に HACCP 方式に基づく飼養管理方式を導入するために必要な検査、指導を実施した。

区分	戸数	対象項目	実施内容
養豚農家	4	農場 HACCP 構築の指導	定期的に各農場の作業分析シート、危害因子及び作業工程の記録について指導するとともに、関係者を集めた推進会議(8回)を実施した。

### イ 動物用医薬品危機管理対策

#### (ア) 動物用医薬品の品質検査・指導

流通段階にある不適正な動物用医薬品を排除し動物用医薬品の品質確保を図るため、動物用医薬品等販売業者への立入検査・指導、医薬品の収去・品質確保検査を実施した。

販売業者店舗数	立入検査・指導		品質確保検査
	対象店舗数	実施店舗数	
114	114	32	医薬品の収去：県家保1品目 (収去品目：テツクール200) 検査場所：家畜衛生研究部 (県北家保収去1品目も実施) 検査結果：2品目とも規格範囲内

(イ) 動物用医薬品使用実態調査

動物用医薬品の使用の規制に関する省令に基づく動物用医薬品の畜産物への残留防止を図るため、養豚農家 3 戸及び肉用牛飼養農家 1 戸の計 4 戸について動物用医薬品の使用状況等の実態調査を実施した。

各農家とも休薬期間を厳守しており、問題はなかった。

(ウ) 薬剤耐性菌の発現状況調査

人と動物の健康に対するリスク分析の基礎資料とするために、薬剤耐性菌の発現状況について調査した。

対象菌種	対象家畜	対象農家数	検体数	菌分離陽性数	分離株数	実施内容	備考
大腸菌	肥育牛 肥育豚 採卵鶏 肉用鶏	20戸 (7戸)	20検体 (7検体)	19検体 (7検体)	38株 (14株)	分離した38株について12薬剤の薬剤感受性を検査した。	( )管内分